

ソーシャルスキルトレーニングVR



User's  
Voice  
vol.12



# FACE DUO

## 特定非営利活動法人JACFA

since 1968

~この地に生まれた命の花を  
誰もが精一杯咲かせることができますように~



代表：浅海 道子 様  
理事長：浅海 久美子 様

### 一人一人に寄り添ったひきこもり状態を含む無業の若者の支援

JACFAは青少年の健全育成を目的として1968年に発足し、今年で56年目を迎えます。「この地に生まれた命の花を誰もが精一杯咲かせることができますように」、の理念のもとに一人一人に寄り添ったひきこもり状態を含む無業の若者の支援を続けています。2000年代に入り、このひきこもり長期無業者のことは社会問題となり、JACFAでは2010年から相談支援を中心にしたひきこもり支援を続けております。

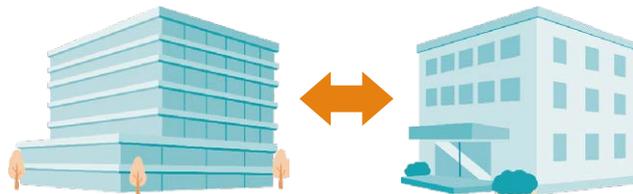


### ひきこもり支援のネットワーク

現在、ひきこもり相談支援、九州大学病院及び若者サポートステーション（以下サポステ）、福祉機関、行政機関、障害者支援機構、高等学校など、大学を含む教育機関、「ふくおかバーチャルさぼーとROOM」（福岡県事業）、ひきこもり親の会、そして就労支援機関と連携を細やかに行っています。

福祉機関、行政機関、障害者支援機構、  
高等学校など大学を含む教育機関

JACFA  
ひきこもり相談・サポステ



ネットワーク

## 就労への一步を踏み出すために

JACFAではひきこもり支援事業とともに、福岡サポステと筑後サポステの運営を行っています。ひきこもり支援と両サポステとの連携は非常に大きいと考えています。

ひきこもり支援



就労支援（サポステ）

ひきこもり状態から回復されて仕事について意識が向くようになられた時、必要となる次の段階の支援へ途切れることなく移行できることは、ご本人やご家族にとって大きな安心感へと繋がります。

サポステでは、個別相談（キャリア相談、心理相談）、職場体験（ジョブトレーニング）、各種講座（コミュニケーション講座、就活講座、認知行動ワークショップ、パソコン講座等）など、さまざまな支援を行っています。

また、交流会、家族セミナー、ボランティア、そして進路決定後に重視しております者に対してはステップアップ支援などの事業を行っています。福岡サポステは、全国177カ所の中で、令和元年度は全国1位、令和5年度は全国3位と、多くの就職者数をあげています。



職場体験の様子

## ICTやデジタル活用による支援の取り組み

時代の変化とともに、特にコロナ禍をきっかけとして、ひきこもり相談でもICT活用、デジタル活用により支援の取り組みが始まりました。来所、電話またはアウトリーチによる従来型の支援に加え、オンライン会議ツールやSNSツール等を用いることで利便性を高めています。福岡県では「メタバース活用長期無業者就労支援事業」が実施されています。



バーチャル空間に「ふくおかバーチャルさぼーとROOM」を開設し、コミュニケーションスキルアップを目的に、バーチャル居場所やバーチャル交流会などの提供と、アバター個別相談、バーチャルジョブトレーニング、スキルアッププログラムを行っています。アバターであるため、コミュニケーションを取るのが苦手な方も参加しやすいです。バーチャル空間で、交流会や個別面談、就労に向けたスキルの習得や就労体験が可能です。



バーチャル居場所/バーチャル交流会



アバター個別相談

## VRを活用したひきこもり家族支援の取り組み

ひきこもり家族支援として、家族セミナーにVRを取り入れることも始めました。九州大学の加藤隆弘先生らが開発したFACEDUOひきこもり家族支援コンテンツでは、「傾聴」や「ポジティブな声掛け」など、対話スキルが学べるプログラムとなっています。



普段やってしまいがちな子供への話しかけについて、VR体験をすると「やってはいけない」という気づきが得られたといった声や、自分の子供に対して話かける際のイメージがつかみやすい、などの反応があります。

難しい場面設定に対してVR体験を通してご家族にイメージし易い環境を作ることができるほか、VR空間上の支援者が進行をリードしてくれるため、ひきこもりのご家族にトレーニングを提供する支援者側の負担も軽減されます。



FACEDUOを活用した家族会の様子

## ご家族視点と当事者視点の両方の視点のVR体験による気づき

ご家族視点



当事者視点



ご家族（自分）視点、当事者（子供）視点の両方の視点をVRで体験することで、コミュニケーションへの「気づき」が与えられます。行動変容にはこの「気づき」が重要です。

2Dの動画では理解が難しい「気づき」を与えることができるのが、VRデバイスの特徴であると言えます。

## 長期無業者の就労支援にFACEDUOの活用

FACEDUOには対人コミュニケーションのトレーニングができるコンテンツが多数あります。福岡サポステと筑後サポステでは、FACEDUOを活用し、対面で行われる従来の就労支援内容を、より充実させることを目指しています。

面接編の自己PRのコンテンツを用いてスタッフとともに練習を行いました。まず、VRゴーグルで場を体験を頂いて、サポートツールも用いながら意見や感想を出し合いながら、ご自分の強みについて一緒に考えていきました。



FACEDUOを活用した就労トレーニングの様子

### 体験した参加者&スタッフの意見

- 実際の面接のようなリアル感があった。
- (映像内で) 人が近づいてきた時は少し緊張した。
- 自分の強みを言葉にするのは難しいので練習が必要と考えた。
- 緊張が強く手の震えがでてしまっていた方が、VRゴーグルを使うことで緊張が和らぎ参加しやすくなっていたので、大変良かった。



## メタバースでの支援とVR支援の融合

「ふくおかバーチャルさぼーとROOM」(メタバース空間)の中においても、SSTの教材として、FACEDUOのコンテンツを再生することができました。対面支援に繋がることが困難な場合でも、ご自宅からでも対面と同様の支援を受けることができる機会を得られるメリットがあります。

また、FACEDUOのコンテンツで得た知識やスキルをその場ですぐにアバター実践練習に移すことができることで、この空間の中でタイムラグなく、1ストップで理解を深めることができます。

メタバース空間で実践したトレーニングを、若サポでのVRを使用したトレーニングに繋げることが可能です。メタバース空間とFACEDUOのリアル場面、実際の人との組み合わせにより、双方の良さが生かされ、シームレスな支援の実現が期待できるのではないかと考えています。



FACEDUOコンテンツをメタバース空間の研修ルームのスクリーンに映した様子

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!

2024年9月作成  
FD2409001